



# 金融教育新聞

～キャッチフレーズは『Make harmony』～



## 知っていますか? 生涯賃金について **重要**

「人生100年時代」という言葉を耳にするようになりました。高齢化により老後生活は長くなっています。平均寿命が延びる中「老後資金がさらに必要になる……」と不安になる人も多くなっているようです。低金利低成長と高齢化により年金の目減りが予測され、2019年6月には「老後2,000万円問題」が持ち上がりました。

今回は、「生涯年収はどれくらいなのか」、「フリーターと正社員の違い」について特集します。生涯年収が分かれば、老後に備えてどれくらいのお金を準備しておけばいいのかも分かります。

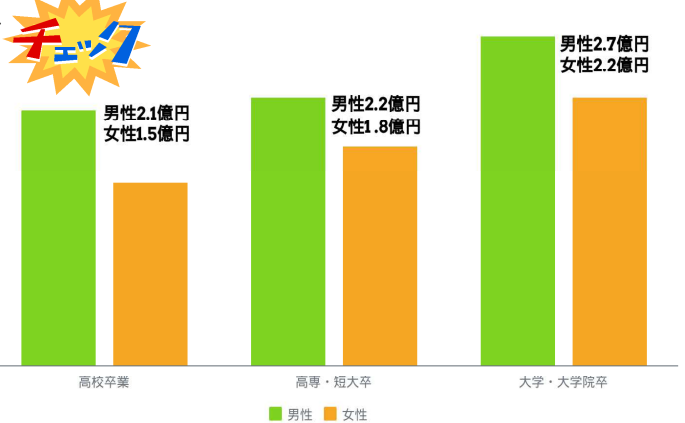
3年次生はいよいよ卒業を迎え、社会人になる人も多くいますが、新卒で入社してから退職までの間に、どれくらいの収入を得ることができるのでしょうか。独立行政法人労働政策研究・研修機構が公表によると、「大学・大学院を卒業し、フルタイムで正社員を続けた場合の60歳

までの生涯賃金(退職金を含まない)は、男性で約2.7億円、女性で約2.2億円となっています。

この年収は「給与の総額」であり、「手取り」ではありません。

一般的に、社会保険料や所得税・住民税などで、給与総額の2～3割程度が差し引かれるので、生涯の手取りは、男性で約1.89億～2.16億円、女性で約1.54億～1.76億円と想定されています。

学歴別生涯賃金



※学校卒業後フルタイム正社員で60歳まで働いた場合  
独立行政法人労働政策研究・研修機構「ユースフル労働統計2019」より



Check!

## フリーターと正社員の8つの違い

第二新卒・既卒・フリーター・ニート・高卒のための就職活動応援サイトより

### 1 自由な時間の有無の違い (フリーター有利)

→フリーターであれば、自分が働きたい時間だけアルバイトをし、そのほかの時間は自由に過ごすことができます。

### 2 辞めやすさの違い (フリーター有利)

→フリーターはアルバイトをすることで生計を立てていますが、いざ「辞めたい」と思えば比較的簡単にアルバイトを辞めることができます。

### 3 責任の重さの違い (フリーター有利)

→フリーターと正社員とでは、圧倒的に責任の大きさが違います。正社員はお客様との商談をしたり、個人個人が売上目標を掲げて仕事をしたり、部下を持ったり。もし部下がミスすれば責任(監督責任)を負わなければなりません。

### 4 給料の違い (正社員有利)

→フリーターは、正社員に比べて仕事内容が簡単なので、気軽にできることから給料はあまりもらえません。会社としてもアルバイトは安い賃金で雇える人材として利用していますので、高い賃金を払うようなことはしません。

### 5 ボーナスの有無の違い (正社員有利)

→正社員にはフリーターにはない「ボーナス」が支給されます。中にはない会社もありますが、通常、中小企業で給料1ヶ月分、大手企業で2.5ヶ月分のボーナスが年に2回程度もらえます。

### 6 有給休暇(休暇を取った日でも賃金が「有給」発生する制度)の有無の違い (正社員有利)

→正社員には有給休暇がありますが、フリーターのほとんどは、働いた日数分の給料しかもらえません。仕事を休めば休むほど手元に入ってくる給料は少なくなります。

### 7 社会保障の有無の違い (正社員有利)

→社会保障とは、具体的に健康保険・介護保険・年金保険・雇用保険・労災保険等のことです。正社員の人はこれら社会保障が適用されているので、将来の備えができますが、フリーターは自分の力だけで生活していかなければなりません。

### 8 社会的信用の違い (正社員有利)

→正社員であれば毎月安定した給料が保証されていますので、家や車を購入する際にローンを組むことができます。しかし、フリーターの場合は収入が不安定で、今の仕事もいつまで続けられるのか保証がないので、ローンを組むことは難しく、さらに、賃貸の家を借りたい時も、フリーターは断られる場合があります。

フリーターと正社員はどこに違いがあるの?



正社員になる  
メリットは?



